

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

美しい心だけでは企業は成長させられない 稲盛 和夫 (京セラ創業者、22年8月、90歳で逝去)

1. 素晴らしい生き方を示し、素晴らしい人間性で対する。そうすれば、相手も心を打たれ、そういう生き方を返してくれるはず。経営者として、社員はもちろん、会社を取り巻くすべての人たちを感化し、変えていくというほどに善きことを思い、善きことを行わなければなりません。そうすれば必ず、めぐりめぐって、自分に返ってくる。それが世の真理なのです。
2. しかし、誤解をしてはなりません。心を高めることが大切ですが、単にやさしく美しい心だけでは、採算をとる厳しさや不況に立ち向かう気概が不足し、企業を成長発展させていくことができないからです。「何としても売上をあげ、利益を確保していくのだ」という凄まじい気概がなければなりません。
3. これは一企業にとどまらず、閉塞感漂う日本経済の再生に関しても同じです。現在の日本を取り巻く状況を打破し、再び成長軌道に戻ろうとするなら、ひとりひとりの経営者が凄まじいまでの闘争心を持つことが不可欠であると、私は考えています。しかし、この闘争心や意志力は、諸刃の剣です。誤って限界を超えれば、自分自身や部下、集団をも破滅させてしまう危険があります。だからこそ、人間性を高める、心を高めるといったことが必要なのです。
(参考：日経ビジネス」2022年11月14日号)

人事・労務について

下積み時代は将来のための貯金

桐竹勘十郎 (人間国宝、人形浄瑠璃文楽座人形遣い)

1. 若い頃の下積み時代というのはいろんなことを考えます。自分のやっていることがばかばかしくなったり。私も「しんどい」「やめたい」と思ったことがあります。でも、それを「いまは十年、二十年後の自分のための貯金をしているんだ」「真面目に貯金を積み重ねていけば、いつかは必ずぱっと使える時が来る」。そう気持ちを切り替えて乗り越えてきました。
2. 文楽に限らず、どの分野でもなぜその仕事をしなければならないのか、ちゃんと理由があるはず。この年齢の時にこの仕事をきちんとしていたら、次にはこれができるようになるというように。ですから、そこで下積みを嫌がったり、怠けたり、いい加減なことをしていると、必ず後々に響いてくる。これは私のこれまでの体験から得た実感です。
(参考：「致知」2023年2月号)

経営者のための危機管理

「危ない企業」の共通点

阿部成伸 (帝国データバンク情報統括部)

1. 2022年下半期の倒産件数は増加基調に転じた。どんな倒産が増えているのか。最近発生した負債額が大きな倒産や話題性の高い倒産について経緯を調べると、周辺から「粉飾決算」「融通手形」といった言葉が聞こえてくる。今は、コロナ関連融資は行き渡り、据え置き期間を経て返済が始まる企業が日に日に増えている。
2. つまり、これからについて検討し、話し合っていくタイミングでついに不正が隠し切れなくなり、息絶える企業が増えているとも考えられる。コロナ禍での経験を踏まえると、コロナ禍を境に業績開示しなくなった企業や急に役員が交代した企業、主力取引先を変更した企業、異常な業績伸長を見せている企業などは特に動向を注視する必要があると考える。
(参考：「週刊ダイヤモンド」2022年12月10日号)

古典に学ぶ

真言密教を広める

1. 「大日経」をさらに学びたいと願った空海は、31歳にして遣唐使となり、困難の末に唐にたどり着き、密教を学びます。
2. 優秀な空海は、20年の予定だった勉強を2年で修め、帰国。朝廷から下賜された京都の東寺と高野山 (和歌山県) を拠点として、真言密教を広めました。また、書家や土木事業家、教育家としても活躍しました。
(参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社)